



## ATI FirePro™ Workstation Graphics



### Case Study | Dassault

## ATI FirePro™ V9800とATI Eyefinity Technologyは 壮大な6画面出力を体験させてくれる

この30年、ダッソーシステム社は、製品ライフサイクルマネジメントや、3Dを牽引してきました。

DS SolidWorks、CATIA、SIMULIA、DELMIAおよびENOVIAなどの製品群で、工業、デザインマーケットや、エンジニアがデジタルで製品シミュレーション、製造工程管理、リソース管理をできるようにしてきました。

これらのダッソーシステムアプリケーションにより、顧客は先進的な製品をより早くマーケットに出せるようになっていきます。最新ブランド、3DVIAでダッソーシステム社は、一般の人が創造したものを自由に3Dで表現できるようにしました。

無料の3Dソフトウェアや3D仮想空間コミュニティを通じ、コンシューマは3Dを作ったり、現実のような3D仮想空間を体験しています。

3Dがビジネスや顧客にとって共通言語となるに従い、ビジネスや顧客に高い生産性、高いパフォーマンスを提供する最新のコンピュータハードウェア開発を高く評価しています。これら最新のハードウェア開発の中には、ATI FirePro™プロフェッショナルグラフィックスカードファミリー製品、特にATI FirePro™ V9800が含まれています。

パリにあるダッソーシステム社リサーチアンドデベロップメントチーム(R&D)のChristophe Delattreによると「CATIA等で大きなデータセットを扱う場合、パワフルなグラフィックスカードは必須です。リアルタイム3D表示や、ベストなソフトウェアパフォーマンスを引き出すキーとなります。R&Dでは、我々のソフトウェアとの互換性テストを様々なハードウェア環境で行っています。

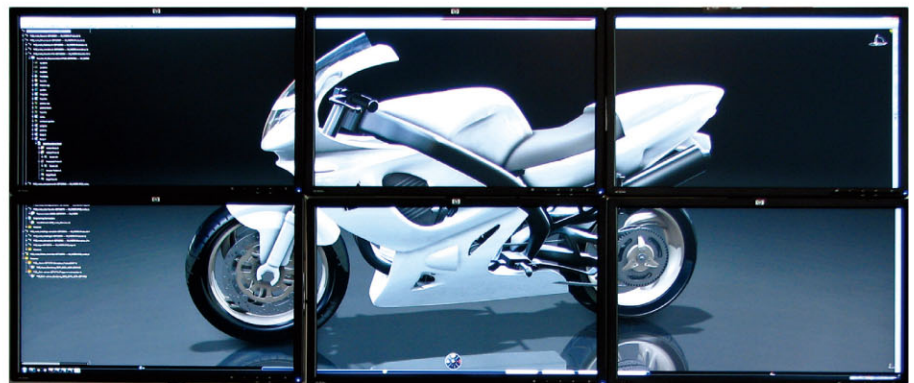
ハードウェアが我々のソフトウェアをサポートできるかを確認するのはもちろんのこと、ソフトウェアが、ハードウェアのパワーをフルに使用しているかどうかを確認します。

ですのでグラフィックスカードの開発には特に興味があります。」

互換性テストでダッソーシステムR&Dチームがよく使用するモデルがあります。多くの顧客で利用される数百のパーツを含んだモデルです。これらは非常に大きなデータセットで1,00万から500万のポリゴンデータを含んでいます。R&Dチームでは、CATIAV5およびCATIAV6へこれらのデータをロードし、ATI FirePro™ V9800プロフェッショナルグラフィックスカードを使ってシェーディング、レンダリングパフォーマンスを評価しました。

Christopheが、評価結果について語ってくれています。

“シングルカードなのに素晴らしい。1600ものストリームプロセッサ数という信じられない数が入っている。今日存在するグラフィックスカードで最強ではないでしょうか。”



ダッソーシステムズ社 R&D ビジュアライゼーションチームのChristopheによると、“6画面出力のセットアップは非常に簡単でした。我々がやったことと言えば、グラフィックスカードをWindows®7 OSベースのワークステーションにインストールし、6枚のHDモニター(1920×1200)を接続、ATI Catalystソフトウェアから設定しただけです。これでCATIAを起動すると何の問題もなく使用できました。”

チームはATI Eyefinity Technologyを調査するため、いろいろな機能をチェックしました。OpenGL®のサポートや、Shaded Modelやアセンブリーの直接操作、大きなデータセットやシネマクオリティリアルタイムレンダリングのためのビデオメモリチェック等です。

Christopheによると、“1画面から、6画面にスイッチしたあとも、レンダリングパフォーマンスは非常によかったです。” 続けて“1画面から6画面の切替は非常に簡単だったし、我々のアプリケーションにモディファイを加えることなく、よいパフォーマンスを得ることができました。これらは顧客がパワーウォールを使い、共同でデザインレビューをする時等、明確な利点の出せるインパクトを持っています。”

ChristopheはATI Catalyst Softwareのベゼル補正機能についてもテストしています。これは、作業するエンジニアが個々のモニターのベゼル幅に伴う画面のずれを補正する機能です。“ピクセルを削除しませんでしたし、イメージの一部が欠落することはありませんでした。CADでは直感的に認識できるシームレスな画像が必要です。実質的にATI FirePro™ V9800は時代を先取りしています。また次のATI Eyefinity Technologyで実現される‘エッジレンディング’機能に期待を寄せています。これにより、複数のHDプロジェクターを使った大きなディスプレイウォールを使用することができます。また、ベゼルの無いスクリーンがLCDベンダーから供給されるのを待っています。



従来の構成では、複数のモニターをサポートするのにPCクラスターやそれにかかるコスト、時にはITスキルが必要でしたが、4GBのオンボードビデオメモリ搭載のATI FirePro™ V9800は、プラグアンドプレイで構成をシンプルにできます。

“1つの筐体で6画面出力をサポートしたというのは正しい進化です。本当に1枚のカードだけで高解像度のプロジェクターを使ったBigWallやステレオルームで使用できるのは素晴らしいです。ダッソーシステムズ社の顧客にLife-Likeエクスペリエンスを提供できるという意味で、一歩進んでいます。”とChristopheが語ってくれました。シニアマネージャJerome Maillotは“ATI Eyefinity Technologyを使うと、本当にその世界に入り込んだ感覚になります。素晴らしい。” さらに“ダッソーシステムズでは顧客に現実の描写に近いものを提供できるよう、イメージクオリティを極限まで追求しています。

エンジニアリングとのコラボレーションという意味で、大きな画面へ高画質で描写するということは非常に大きな一歩です。

例えば、3Dのモデルをフルスケールで評価、シェアできるという事は、非常に大きなコストセーブにもつながります。夢のような話ですが、現実なのです。ATI FirePro™ V9800はダッソーシステムズ社の高い要求を満たしています。”



ATI Eyefinity technology can support multiple displays using a single enabled ATI FirePro™ professional graphics card; the number of supported displays varies by card model. Microsoft® Windows® 7, Windows Vista®, or Linux® is required in order to support more than 2 displays. Depending on the card model, native DisplayPort™ connectors and/or certified DisplayPort™ active or passive adapters to convert your monitor's native input to your card's DisplayPort™ or Mini-DisplayPort™ connector(s) may be required. See [www.amd.com/firepro](http://www.amd.com/firepro) for details. ATI Eyefinity technology can support multiple displays using a single enabled ATI FirePro™ professional graphics card; the number of supported displays varies by card model. Microsoft® Windows® 7, Windows Vista®, or Linux® is required in order to support more than 2 displays. Depending on the card model, native DisplayPort™ connectors and/or certified DisplayPort™ active or passive adapters to convert your monitor's native input to your card's DisplayPort™ or Mini-DisplayPort™ connector(s) may be required. See [www.amd.com/firepro](http://www.amd.com/firepro) for details.

© 2010 Advanced Micro Devices, Inc. All rights reserved. AMD, the AMD Arrow logo, ATI, the ATI logo, FirePro, and combinations thereof are trademarks of Advanced Micro Devices, Inc. Other names are for informational purposes only and may be trademarks of their respective owners.

**ACUBE**

株式会社エーキューブ  
〒102-0076 東京都千代田区五番町二番地 カサ・ド・タク30C  
TEL:03-3221-5950 FAX:03-3221-5953 info@acube-corp.com

[www.acube-corp.com](http://www.acube-corp.com)